

2025年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	福祉課
施設名	須坂ひだまり作業所		
所在地	長野県須坂市大字須坂483番地3		
施設設置目的	就労することが困難な在宅の障がい者の特性に応じた作業訓練、生活援助を行い、福祉の増進を図る。		
施設概要・設備	建物の構造:鉄骨平屋建て 敷地面積:1,120㎡ 延床面積:390.30㎡ 施設の内容:事務室、食堂、和室1、訓練室、作業室1・2、倉庫、浴室、厨房		
建設年月	1995年4月	指定管理 開始年月	2007年4月

【指定管理概要】

指定管理者名	社会福祉法人 ともす会（旧法人名:社会福祉法人 夢工房福祉会）
指定期間	2021年4月 ～ 2026年3月
業務内容	(1)利用契約に関する業務 (2)施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3)作業訓練等に関する業務 (4)利用料の徴収に関する業務 (5)障害者総合支援法に基づく施設運営に関する申請業務 (6)前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務
職員体制	常勤: 6名 非常勤: 5名 合計: 11名
(専門職、役職等内訳)	所長兼サービス管理責任者1、生活支援員8、職員指導員1、看護師1

1 施設利用状況

			実績				
項目	単位	目標値	2023年度	2024年度	2025年度	対前年比	対目標値
生活介護	人(延べ)		2,000	1,948	2,942	151.0%	
就労継続支援B型	人(延べ)		2,507	2,995	2,995	100.0%	
特記事項							

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者				市			
科目		予算額	決算額	科目		予算額	決算額
収入	指定管理料			収入	使用料・手数料		
	使用料・手数料						
	自立支援給付費収益	54,500	50,444				
	就労支援事業収益	6,600	6,419				
	その他	1,224	1,207		その他		
	収入計	62,335	58,070		収入計		
支出	人件費	32,918	32,716	支出	指定管理料		
	需用費	2,182	1,883		修繕費		
	役務費				備品購入費		
	事業費	8,778	8,277				
	就労支援事業費用	6,600	6,273				
	その他				その他		
	支出計	50,478	49,102		支出計		
管理事業損益 (a)			8,968	管理事業損益			

損益 (a) + (b)	8,968
管理事業損益 + 自主事業損益	

特記事項	
------	--

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	なし
--------	----

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
合計			自主事業損益(b)
			0

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	・定期面談を週1回、月に2～3回実施。 ・ご家族と電話及び連絡ノートで共有。 ・支援会議にて本人、家族、関係機関と共有。
	(2) 調査等の結果
	生活介護利用者の作業の種類について質問あり。 作業に対して積極的に取り組むことが減少した利用者がある。 疲れやストレス、睡眠不足など様々な要因が考えられる。
②利用者からの声	(1)良好とする評価
	生活介護利用者のスケジュールは、午前作業、午後活動となっている。 作業ばかりでなく、活動で運動や外出などリフレッシュできないようになっていて、様々な経験もできているので、今後も継続してほしいと意見があった。
	(2) 苦情・改善の要望
	ご家族より、現在取り組んでいる作業がワンパターンなため、飽きがでてきて集中できていないのではないかと、との意見があった。
③対応措置	作業種類の幅を広げ、できたことを評価していき、自己肯定感を高めることにつながれば、意欲をもって取り組むことができると考えられる。本人との面談を取り入れながら、作業種類を増やしていく支援を検討していく。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	2
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	◎	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	◎	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	◎	3
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	1
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	◎	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか	△	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	3
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	◎	

合計点 16 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点～13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

- ・運動機能向上のため轟病院による訪問リハビリの取り入れ。

生活介護、就労継続支援B型の利用者を対象に轟病院の訪問リハビリ理学療法士による健康体操教室を月1回1時間程行っている。以前より、就労継続支援B型利用者の高齢化やADL低下がみられていたため、生活介護利用者だけでなく、就労継続支援B型利用者も対象とし、活動している。健康体操教室では、前半30分程専門性のある筋力トレーニングと柔軟体操を重点的に行い、後半30分は交流も兼ねボッチャなどのニュースポーツを行っている。負担のかからないよう工夫し、利用者が参加する意欲を持ち、取り組みやすい内容に設定されている。今後も継続していき、普段から生活介護利用者の活動にも体操を取り入れていき、筋力維持、転倒防止につなげていきたい。また就労継続支援B型利用者の筋力低下を防止し、作業する歳の姿勢の維持や集中力につなげていきたい。

(2) 課題

生活介護、就労継続支援B型ともに在籍利用者が転居、サービス移行などの理由で現象傾向。当事業所が利用者に通所を希望される事業所であることを目標とし、新規の利用者の獲得をしていくため事業所説明会への積極的に参加する、障害者等総合支援センターと連携するなどアプローチしていくことを課題とする。

(3) 次年度以降の取り組み

- ・自主製品の開発

現在、当事業所では自主製品の作業を行っておらず、室内で行える作業は企業との契約でいただいている作業のみである。万が一、受注が停止した場合、室内作業を希望されている利用者に作業を提供できない状況が発生する可能性がある。

そのようななかで、室内で行える自主製品の開発をすることが必要と考えている。案として、靴下加工作業で出る端切れを使用してのハンドメイドを検討している。なべしき・コースター・ヘアゴム・シューズキーパー・食器洗い用スポンジなど試作している。

今後、人形博物館に依頼し販売が決定している。そのほか、販売会やイベントなどでアピールしていく。

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

- ・利用者増に向けた取組みの成果により、利用者人数は前年度比生活介護は150%となっている。

・協定時間に定められた開閉時間を遵守し、法で定められた施設管理運営に必要な人員を配置し、適性な運営を実施している。

・中庭に発生したスズメバチの巣に対して迅速な駆除対応を行うなど、利用者の安全確保に向けた管理が適切になされている。

・敷地内の草木が隣接地へ越境した。本件については市、指定管理者で速やかに伐採対応がなされたが、今後は周辺住民への生活環境にも配慮し、定期的な巡回や点検を行うことで、事前の維持管理および未然防止に努められたい。

- ・管理運営基準のとおり、概ね公平・公正な利用者対応および施設運営が維持されていた。